

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor	実務 経験
財務会計論 I	~218	2年生・前期	2単位	選択	津守 常弘	
履修の前提条件	「簿記 I・II」「会計学入門」「会計学総論」など会計学の初歩的な知識を習得していることが望ましい。					
授業概要 (Course Outline)						
「財務会計論 I」では、初歩的な簿記の知識を前提にして、財務会計の必要性や基礎的な用語を学び、さらに「企業会計原則」と「国際会計基準」、「収益・費用中心観」と「資産・負債中心観」とへの制度・理論への両極分化について学習した上で、差し当たり、資産会計と負債会計の主要な論点について学習します。						
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)						
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture					○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature					
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening					
	数量的スキル Mathematics					○
	情報リテラシー Information Literacy					
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					○
	問題解決力 Problem Solving					
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy					○
	自己管理能力 Self-management					
	チームワーク Teamwork					
	リーダーシップ Leadership					
	倫理観 Ethical Sense					
	市民としての社会的責任 Social Responsibility					○
生涯学習力 Lifelong Learning						
到達目標 (Objectives)						
<p>今日、実体経済に比べ金融経済が著しく優位を占めるようになってきているため、財務会計に関する知識は誰もが身につけていなければならない常識になっています。このような社会的要請に応えるため、「財務会計論 I」では、財務諸表の読みとり方の基礎を身につけることを目標にしています。</p> <p>財務会計論全体では資産・負債・資本・損益に関する問題を対象にしますが、さしあたり「財務会計論 I」では、資産会計・負債会計に関する主要問題について学習します。</p>						
事前学習の内容	毎回の講義の前にはテキストの該当箇所を必ず予習しておくこと。					
事後学習の内容	講義内容の要点は必ずノートし、次回の講義に備えておくこと。					
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)						
講義内容および講義資料の性質に応じて、対話的な授業を行います。						
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)						
<p>学習上の質問、相談については、講義終了後、教室または研究室(454)で受け付けます。</p> <p>オフィスアワー: 水曜日4時限目に研究室。</p>						
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について						
学習の確認: ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。						

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	現代社会では財務会計の知識がなぜとくに必要なのかについて考えます。		
第2回	企業会計の仕組み(1)：企業の損益計算の仕組みについて考えます。		
第3回	企業会計の仕組み(2)：会計原則、会計基準がなぜ必要なのかについて考えます。		
第4回	企業会計の制度的な構造、とくに金融商品取引法をめぐる法制度的な仕組みについて学習します。		
第5回	会計基準と財務会計概念フレームワークとの関係について学習します。		
第6回	資産会計論(1)：資産の意味と分類について学習します。		
第7回	資産会計論(2)：資産評価・資産評価基準について学習します。		
第8回	資産会計論(3)：金銭債権・有価証券の会計について学習します。		
第9回	資産会計論(4)：棚卸資産の会計について学習します。		
第10回	資産会計論(5)：有形固定資産会計について学習します。		
第11回	資産会計論(6)：無形固定資産会計について学習します。		
第12回	資産会計論(7)：繰延資産の会計について学習します。		
第13回	負債会計論(1)：負債の意味と分類について学習します。		
第14回	負債会計論(2)：流動負債の会計と引当金の会計について学習します。		
第15回	負債会計論(3)：リース会計について学習します。		
第16回	定期試験等		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
授業開始時に指示する			
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
講義用資料を必要に応じて配布します。			
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
(1) 学期末試験を行う。(2) 必要に応じて中間試験を行う。			